宅ニ　難　且其　省ヘ　高　金　金　利子　越高　高　米代　雜費　米代　雜費　雜費　米料　穀料　金　書買　高　收入　金　金　利子　總高

（差引金三千三百二十九圓六十錢　減）
（豫算金千三百七十四圓九十四錢一厘）
一金ナシ　支出高
（差引金千三百七十四圓九十四錢一厘　減）
内
（金三十二圓五十三錢）
金ナシ　焚出辨當白米代
（金三十二圓五十三錢　減）
（金五十二圓二十六錢）
金ナシ　同上菜代其他諸雜費
（金五十二圓二十六錢　減）
（金百六十二圓六十五錢一厘）
金ナシ　避難所用白米代
（金百六十二圓六十五錢一厘　減）
（金百九十圓）
金ナシ　小屋掛料
（金百九十圓　減）
（金三百七十五圓）
金ナシ　農具料
（金三百七十五圓　減）
（金三百七十五圓）
金ナシ　種穀料
（金三百七十五圓　減）
（金百八十七圓五十錢）
金ナシ　地租補助金
（金百八十七圓五十錢　減）
收支差引金一万九千四百八十圓八十一錢八厘
内
金一万七千四百三十五圓三十八錢　公債證書買入高
金二千四十九圓四十三錢八厘　現金
（畢）

叙任賞勳

○六月五日分
任元老院幹事　司法大輔兼元老院議官　從四位勳三等　細川潤次郎
兼任元老院議官　司法少輔　從四位勳三等　岸良兼養
任司法大輔　元老院幹事　從四位勳三等　河瀬眞孝

時事新報

北京駐在新任英國公使

東京駐在現任英國特命全權公使「サー、ハリ、スミス、パークス」ハ「サー、トーマス、フランシス、ウエード」ノ後任トシテ支那北京駐在特命全權公使ニ轉任シタルヨシ五月三日倫敦發ノ「ルイター」社電報ニ見エタリ我輩ハ「ルイター」社ノ電報ノミヲ以テ滿足セズ此報道ノ虛實如何ヲ決セント探聞シタルニ決シテ虛構ノ報道ナラズシテ甚ダ正確ナル事實ナリ英國外務卿「グランヴイル」侯ヨリモ疾クニ此轉任ノ事ヲ「パークス」公使ヘ通達シアリトノ事ヲ承知シタリ

支那ハ亞細亞第一ノ大國ニシテ土地ノ廣ク人民ノ衆多ナル英國ヲ除クノ外ハ全世界ニ於テ之ト肩ヲ比ブル者ナシ故ニ政治上ナリ商業上ナリ英國ノ支那ニ關スル利害ハ實ニ東洋ノ第一位ヲ占ムルナリ北京駐在ノ英國公使ハ特命全權使節兼貿易事務總監ノ職名ヲ帶ビ其責任甚ダ重シ俸給ハ一ヶ年六千磅(三万銀圓)ニシテ在東京英國公使ノ年俸ニ比スレバ二千磅(一万銀圓)ヲ多クセリ彼ノ今英國公使ノ身分ニシテ東京ヨリ北京ヘ轉任スルハ其榮轉タルヤ疑ヲ容レズ外交官吏ニ身ヲ委子タル者ノ一大名譽トシテ之ヲ羨マザル者ハナカルベシ然ルニ此榮轉ノ沙汰アリシ以來既ニ全一ケ月「パークス」公使ガ新命ヲ拜シタルノ報知ヲ得ザルハ甚ダ不審ノ事ニシテ既ニ東京横濱ノ社會ニ於テハ種々ノ風說流行シ榮轉ノ承諾ナキヲ訝ラザル者ナカリキ此中ニテ最モ容易ナラザル風說ハ今回「パークス」公使ノ轉任ニ付支那政府ニ於テ異存ヲ申出デ在倫敦ノ支那公使曾紀澤ニモ何カ周旋奔走スル所アリテ英國外務省ハ頗ル困難ノ地位ニ立テリ是等ノ內情アルガタメニ「パークス」公使ニハ爾來一ヶ月未ダ新命ヲ拜スルノ場合ニ至ラザルナリト云フモノ是ナリ我輩ハ此問題ニ關シ未ダ確報ヲ得ザルヲ以テ固ヨリ此風說ノ眞ト僞トヲ明言スルヿ能ハズト雖ドモ全体ノ事情ヨリシテ觀察スルトキハ無論虛構ノ風說ナリト判定シ只管確報ヲ得ルノ遲キヲ憾ミシガ去ル二日刊行ノ横濱「ヘラルド」新聞ニ「パークス」公使ノ北京ニ榮轉ハ事實ナリ此旨「グランヴイル」侯ヨリ通達アリテ公使ニモ既ニ此任命ヲ拜シタルヨシ支那政府ニテ何カ異存アリテ或ハ之ヲ公言シタルニモセヨ之ヲ論解シ得タルカ又ハ自カラ之ヲ取消シタルナルベシ公使モ赴任ヲ急キ數週間ノ中ニハ必ズ出發スベシ云々トアリ「ヘラルド」新聞ハ英國公使館ニ關スル報道ニ於テハ常ニ迅速正確ノ名ヲ博スルモノナレバ我輩ハ此報道ヲ正確ノモノト信ジ大ニ「パークス」公使ノタメニ此榮轉ヲ慶賀スルナリ然ルニ不幸ニシテ此榮轉ノ沙汰アリシ報道ト此榮轉ヲ承諾シタル報道トノ間ニ空シク一ケ月ノ時日ヲ費シタルヲ以テ大ニ世人ノ疑惑ヲ來タシ必定支那政府ガ此任命ニ反對シテ異存ヲ申出シユエナリトノ風說內外社會ニ喧シク彼ノ英國公使ニ對シテ無上ノ好意ヲ懷ケル「ヘラルド」新聞ノ如キスラ此ニ關シテ紙上ニ記スル所アルニ至リタルハ我輩ノ遺憾之ニ過キザルナリ然レドモ我輩今支那政府ニ代リテ身ヲ其地位ニ置キ彼是レト考慮スルモ「ハリ、パークス」氏ヲ英國特命全權公使トシテ其朝廷ニ引接スルヿヲ好マズト云フノ理由ヲ見出スヿ能ハズ我輩ハ左ニ英國外務職員履歷簿中ヨリ同氏ノ履歷ヲ抄錄シ今回ノ任命ニ支那政府ノ異存アルベカラザルヲ辨シ聊カ同氏ノタメ其冤ヲ雪カントス履歷ノ大畧左ノ如シ

「ハリ、パークス」氏ハ千八百四十一年六月「ポツチンガル」氏ノ隨員トナリテ始メテ清國ニ來リ四十五年ヨリ四十六年ノ間福州ニテ譯官ヲ勤メ四十六年ヨリ八年マデ上海ノ譯官ヲ代理シ四十八年四月十九日上海ノ譯官ニ任ジ四十九年更ニ廈門ノ譯官ニ任シ五十一年清民ニ賞與ヲ頒ツタメ台灣派遣ヲ命セラレ同年十一月二十一日廣東ノ譯官ニ任シ五十四年八月十日廈門ノ領事ニ任ジ五十五年三月「ボーリング」氏ニ隨行シテ暹羅ニ赴キ該國ノ條約ヲ挈ヘテ英國ニ歸リ五十六年一月條約ノ批准ヲ以テ暹羅ニ到リ其年七月ニ歸リ五十八年九月マデ廣東ノ代理領事ヲ勤メ同年十二月二十一日上海ニ轉任シ同年一月廣東ノ共同委員會議ニハ英國ノ委員トナレリ五十九年十二月六日「コムパニオン、オフ、セ、バス」ニ叙セラレ特派全權大使「エルギン」侯ニ隨行シテ其書記官トナリ六十年黃河事件ノ際屢々要衝ニ當リソノ八月二十三日副水師提督「ホープ」氏ニ隨ヒ天津ニ赴キ清國ガ英佛ト搆戰ノ際兩國ノ談判ニ奔走周旋シテ其功績少カラズ九月十八日清國人ノタメニ擒トナリ備サニ辛苦ヲ嘗メ殆ンド死地ニ陷リシモ十月八日免サレテ再ビ「エルギン」侯ニ隨行シ六十一年一月侯ハ清英ノ和成ルヲ以テ清國ヲ去リ氏モ廣東ノ任所ニ歸リ更ニ水師提督「ジエームス、ホープ」氏ニ隨行シテ揚子江ノ遠征ニ赴キ六十二年五月十九日「ナイト、コムマンダア、オフ、ゼ、バス」ニ叙セラレ六十五年三月二十八日日本駐在英國特命全權公使兼總領事ニ轉任シ爾來日本國ニ在留シテ日英ノ間ニ周旋セリ

斯ノ如ク同氏ハ支那ニ官遊スルヿ前後二十三年其人情風俗ニ通ズルハ勿論支那ノ國步艱難ノ際ニ周旋シタルヲ以テ支那政府ノ官吏ニシテ同氏ニ面識ナキモ「ハリ、パークス」ノ名ヲ聞テ之ヲ知ラザル者ハ一人モナキ程ノ有樣ナレバ公私ノ交際上自他ノ便利此上ナカルベキナリ但シ咸豐ノ亂ニ交戰停止中ニモ拘ハラズ支那兵ガ公法ニ背キテ「パークス」氏ヲ擒ニシ拷掠至ラザル所ナク殆ド死ニ至ラシメントシタルヿアリシト雖ドモコハ支那政府ノ過ニシテ「パークス」氏ノ過ニアラズ然ルニ支那政府ハ自己ノ前過ヲ思ヒ「パークス」氏ガ怨ニ報スルニ怨ヲ以テセンヿヲ掛念シ氏ト相違サカラント欲シテ今回ノ任命ヲ拒ムトセンカ是即チ人ノ不善ヲ逆フルモノニシテ君子ノ所爲ニアラズ儒敎主義ノ盛行スル支那國人ニシテ斯ル卑劣ノ所爲アルヘキ理由ナキナリ或ハ又支那政府ハ「パークス」氏ガ二十年前ノ所業ニ徴シテ尙ホ今日ニ疑懼スル所アリトセンカ「パークス」氏トテ聖人ニテハアラザルベケレバ二十餘年間ノ在留中時々或ハ支那政府ノ怨ヲ買フニ足ルベキ程ノ所業ナカリシトモ申シ難シト雖ドモ二十年前ノ「パークス」ハ今日ノ「パークス」ニアラズ血氣正ニ剛ナルノ時ニ當リテハ或ハ道義ノ範圍ヲ踰越スルノ言行モアリシナランド雖ドモ既ニ耳順ノ老翁タル今日ニ於テハ壯年ノ過ヲ再ビスルノ掛念アルベカラズ近ク之ヲ在日本ノ英國公使タル「パークス」氏ノ身上ニ就テ證スベシ慶應以來明治ノ初年頃マデハ「パークス」ノ名都門ニ喧シク今日ニ於テハ之ヲ云フモ氣ノ毒ナルヿナガラ實ニ人ノ指彈ヲ免カレザルモノナリキ然ルニ今ヤ全ク之ニ反シ昔年ノ讐敵モ今日ノ親友トナリ東京社會ニ「パークス」ノ名ハ親愛恭敬スベキ人ヲ表スルノ字義ト一變シタリ此例ニ由テ之ヲ推スニ今日ノ支那政府ハ道光咸豐年間ノ支那政府ニアラズ今日ノ「パークス」氏ハ二十年前ノ「パークス」氏ニアラズ主客今日互ニ北京ニ相見ンニハ和氣相投シテ琴瑟ヲ鼓スル趣アルヤ疑ナシ支那政府ハ自家既ニ道光咸豐ノ政府ニアラズト信セリ然ルニ「パークス」氏ニ限リテハ二十年一日ノ如ク今日仍ホ血氣壯剛ノ「パークス」氏ナリトスルハ實ニ恕ノ道ヲ知ラザル者ト云フベシ支那政府ノ爲ザル所ナリ故ニ我輩ハ支那政府ガ「パークス」公使ヲ拒絕スルノ理由ナキヲ確信スル者ナリ